

## 再処理工場のしゅん工時期の見直しについて

- 本日、再処理工場の2022年度上期のしゅん工時期について、見直すこととしました。
- しゅん工時期については、設工認の審査の進捗による影響が大きいことから、次回設工認の主要論点の整理や審査の状況を見極めて、年内に公表したいと考えております。
- 安全性向上対策工事については、設工認の認可後に実施する既設配管への繋ぎ込み等の工事以外は、上期末には約95%が完了する見込みです。
- 残る工事には、コロナ情勢により工事に必要な半導体などの部品調達が困難な状況となっている火災感知器や情報把握計装設備の設置工事と、審査を踏まえ新たに追加した地下水排水設備や北換気筒の耐震補強工事等があります。これらは、いずれも2022年内には終了する計画で進めております。
- その上で、設工認の審査については、第1回の設工認の認可に向け最終段階の対応となっています。審査対応の効率化を図るため、残りの設工認は、設備を一括にして11月に申請する計画で進めており、また、類型化の考え方や地盤・耐震などの主要論点の整理を進め、早期認可を目指してまいります。

以上